

## 令和5年度第2回 岐阜市立女子短期大学運営委員会報告書

1 日 時 令和6年2月19日（月）10時00分～11時50分

2 場 所 岐阜市立女子短期大学 大会議室

3 出席者 （1）外部委員（1号委員）出席4名  
池田委員、石黒委員、臼井委員、馬場委員  
（2）学内委員（2号委員）出席4名  
畑中学長、服部副学長、大澤附属図書館長、久米事務局長

4 次 第 （1）2024年度入学者選抜状況  
（2）ぎふ地域創発人材育成プログラム（SPARC事業）  
（3）その他の取り組み  
（4）将来構想委員会 議論の経緯  
（5）岐阜市立女子短期大学将来構想 答申の概要

### 5 委員の意見

#### ○意見1

海外演習について、若いときに実際に行って触れることが大切であるので、学生への支援をしてあげてほしい。

#### ○意見2

学習意欲が増したことについては、今いる学生が満足できていることが将来につながる  
と考える。データサイエンスについては、今の高校生はAIやデジタル化などに興味・関  
心が高いので、引き続き推進していってもらいたい。地域での取り組みについては、コロ  
ナ禍が終わり地域学、ふるさと教育が盛んになり、学校が所在する地域を題材に探究活動、  
課題解決活動をしているので、大学においてさらに発展して、その力が身につけていけば  
と考える。

#### ○意見3

高校生の4年制大学への志向が強いが、その中身として、なかなか生徒自身で決め切  
れない、親の意見に左右される、早く働きたいと思う生徒が少なくなっていること  
が考えられる。4年制大学のニーズは今後も大きくなると考える。

#### ○意見4

今後、地域経済活性化を重点におくのであれば、大きな企業のノウハウを学ぶことが  
でき、後継者育成にもつながるコースができると、学生確保にもつながると考える。

#### ○意見5

日本人の海外におけるコミュニケーション能力はまだまだなので、大学がその一助と  
なればよいのではないかと考える。

#### ○意見6

学生を取り込むことも大切だが、地域に根ざして社会に開かれた形の活動も大切であ  
り、教員やスキルを持った人が行えればよいと考える。